



TOMAKOMAI

# みんなの広場



今月のひと

インタビュー

胆振きのこ菌友会 事務局長

きたむら ますみ

北村 益美さん (74)

安全にキノコを楽しんで

## 誤食による食中毒の防止に尽力

自然の恵みである天然のキノコ。しかし毎年毒キノコの誤食による中毒事故が後を絶ちません。1990年に発足した胆振きのこ菌友会では、キノコを安全に楽しむための勉強会を毎シーズン開催しています。事務局を務める北村益美さんは、指導員として長年培った知識と経験から、食用が有毒が見分けづらい野生のキノコを正しく鑑別。誤った判断をしないよう注意を呼び掛け、事故を未然に防ぐ活動を続けています。

## まだまだ知らないキノコの世界

山間の集落で育ち、幼い頃から食用キノコを採取してきたという北村さん。味と香りが魅力のキノコですが、何十年もその道に携わる専門家でさえ野生のキノコの鑑別は難しく、奥が深い世界だと話します。自宅の書斎には調査のための参考資



料や試薬が並び、英語やイタリア語で書かれた学術書も。専門家が集まる観察会などに参加するため、日本中を飛び回ってきました。「次々新種が発見され、まだまだ知らないことがたくさん。未知の世界です」。

## 安心してキノコが食べられるように

同会では8月から10月にかけて、支笏湖や樽前山周辺で実際に野生のキノコを採取し、理解を深めています。時には「こんなキノコがあった」「これは食べられる?」と、会員以外も北村さん宅に現物を持ち込みます。「知識を過信した熟練者による事故も多いです。絶対に自分の判断だけで食べないで。安全においしく食べてもらうため、北村さんのキノコ愛と探求心は止まりません。」



▲採取会には会員約30人が参加。「食用とされている野生のキノコは必ず火を通して」と北村さん

## とまこまい 検定



○に当てはまる言葉は?

新しいCIR(国際交流員)ハニック・リリーさんの出身は○○○○○○州

**応募方法** はがきに答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報とまこまいへのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。宛先 ▶ 〒053-8722 旭町4-5-6 秘書広報課 広報担当 締切は10月31日(月)(消印有効)まで。応募は1人1通まで。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

「広報とまこまい」限定

抽選で5人に  
とまこま  
オリジナル  
マグカップを  
プレゼント!



前月号の答えは ▶ とまこまジョブ

## 市役所・出張所などの連絡先

- 市役所 〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号  
☎0144(32)6111(代表)
- 勇払出張所 〒059-1372 苫小牧市字勇払33番地  
☎0144(56)0003
- のぞみ出張所 〒059-1272 苫小牧市のぞみ町1丁目2番5号  
☎0144(67)0464
- 沼ノ端出張所 〒059-1304 苫小牧市北栄町3丁目3番3号  
☎0144(55)0979

## 市政に関するご意見、ご提案などは

- 協働・男女平等参画室 ☎0144(32)6152 FAX 0144(34)7110  
メールアドレス kyodosankaku@city.tomakomai.hokkaido.jp

## HPの情報はここから

- 苫小牧市役所ホームページ  
<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>

市役所HP  
アクセスは  
こちらから



UD FONT  
by MORISAWA



広報とまこまいは、誰もが使いやすいように、ユニバーサルデザインに配慮した色やフォントを使用して作成しています。また、植物油インキを使用し、環境に配慮しています。